

要 覧

令和2年度



福岡県立図書館

目 次

1	沿 革	1
2	運営の基本方針	3
3	令和元年度事業	5
4	組 織	11
5	福岡県立図書館協議会委員	12
6	予 算	12
7	施設 の 概 要	13
8	利 用 案 内	13
9	統 計 資 料	15
10	令和元～2年度 新型コロナウイルス感染症対応記録	23

1 沿革

大正 4年10月 (1915年)	大正天皇御即位記念事業として、福岡県立図書館を設立することが臨時県会において可決、3か年継続事業として総経費132,240円
大正 4年12月 (1915年)	福岡県立図書館規則を制定し、図書館を福岡県庁内に設置
大正 7年 3月 (1918年)	同館落成、5月1日から一般の無料閲覧を開始 場所は現在の天神2丁目、本館は木造2階建て延べ492坪、書庫は煉瓦造り3階建て延べ120坪、蔵書は和洋書約25,000冊 この建物は昭和20年6月19日戦災により焼失
昭和20年 6月30日	仮事務所を中学修猷館内に置き復興事務を開始
昭和23年 8月	県議会において本館の復興を可決し、総経費530万円をもって工事に着手し、昭和24年7月1日落成、7月4日から閲覧を開始、場所は博多区東公園内で、本館は木造平屋建て141坪、書庫は2階建て35坪
昭和35年 9月10日	県と市の間で、須崎公園の一角に文化センターを建設する話合いが進められ、知事と市長が覚書を取り交わし、市が公会堂を県は図書館を建設することを決定
昭和38年 2月	県は図書館に美術館を併置した文化会館を建設することとし、工費34,056万円をもって2月15日着工、翌39年8月15日落成
昭和39年11月 3日	文化会館が中央区天神5丁目を開館、鉄筋コンクリート4階建て、書庫地下1階、地上7階延べ7,205㎡
昭和54年12月	文化会館が図書資料の増大等により手狭になったため、新しく県立図書館を建設するための基本設計費が12月県議会において議決
昭和56年 4月21日	図書館新築工事着工（施設の概要は別記）
昭和57年12月	12月県議会において、「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」を一部改正し、図書館を設置
昭和57年12月27日	新館竣工
昭和58年 2月25日	落成式挙行
昭和58年 4月 1日	開館、一般閲覧開始
昭和59年11月 4日	日曜開館実施
平成 5年10月 1日	県議員会館が図書館に所管換される
平成 6年 9月	図書館別館改築工事着手（県議員会館の転用）
平成 7年 3月31日	別館竣工
平成 7年 4月 7日	別館開館、一般供用開始
平成 7年 6月 2日	別館落成式
平成 7年11月10日	本館地下書架増設に伴う改築工事着手

平成 8年	3月15日	同上竣工
平成 8年	3月22日	電算による業務開始
平成10年	5月15日	インターネットによる図書情報提供開始(福岡県立図書館所蔵和図書情報33万件) 「ふくおか生涯学習ネットワーク」 (アドレス http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/)
平成11年	4月 1日	福岡県立図書館組織規則改正 インターネットによる図書情報提供に北九州市、福岡市加わる (福岡県立図書館、北九州市立中央図書館、福岡市総合図書館 3館の和図書情報計130万件)
平成12年	3月	図書館協力車として車1台の寄贈を受ける (平成16年度以降資料配送業務を外部委託)
平成13年	10月	別館子ども図書館増改築工事着手
平成14年	2月22日	同上竣工
平成14年	4月23日	子ども図書館開館記念式典
平成15年	8月	ビジネス支援情報コーナー設置
平成16年	2月	新・福岡県図書館情報提供システム稼働開始 ネットワーク加入館の拡大
平成17年	1月	平成16年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)
平成17年	4月	休日開館実施
平成17年	11月	「学校支援サービス」の拡充(学校貸出図書セット運用開始)
平成19年	7月24日	青少年と暮らしの交流室設置 (令和2年2月第一閲覧室別室へ名称変更)
平成21年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成22年	3月	在架予約サービス開始
平成22年	10月	遠隔地貸出・返却サービス本格実施
平成24年	10月	福岡市立図書館との相互返却を開始
平成25年	6月	福岡県公共図書館等協議会において、全県的に「学校支援サービス」本格実施
平成25年	11月	第99回全国図書館大会福岡大会開催
平成26年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成27年	2月	平成26年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)
平成30年		開館100周年
平成30年	11月18日	「開館百周年記念式典」挙行
平成31年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成31年	4月	「遠隔地貸出・返却」サービスの名称を「指定館受取・返却」サービスに変更
令和 2年	4月	福岡県立図書館組織規則改正(班制の実施)

2 運営の基本方針

福岡県立図書館は、本・図書館員の専門性を活用し、福岡県の人・学び・文化の発展に貢献します。

目標 1：福岡県の文化を継承し、地域で活躍する人財を育てるお手伝いをします。

(1) 郷土資料センターとしての役割

- ① 福岡県に関する出版物及び県内出版物の収集・保存・提供により、福岡県の文化の継承・発展を目指します。
- ② 福岡県関係の資料・情報をデジタル化して公開し、県全体としてのデジタルアーカイブの構築を目指します。
- ③ 福岡県に関するレファレンス・ツールの作成と、レファレンス事例の蓄積・公開により、ビジネスや教育など、地域の課題解決に貢献します。

(2) 県内図書館活動の推進拠点としての役割

- ① 市町村立図書館等職員に対する研修等を行うとともに、「福岡県公共図書館等概況」の刊行など図書館運営等に関する情報提供や市町村立図書館等への巡回相談を実施するなど、市町村立図書館等の活動を支援します。
- ② 「福岡県図書館情報ネットワーク」の運営により、市町村立図書館のほか、大学・学校・専門図書館を含む県内図書館間の相互貸借の充実に貢献します。
- ③ 「福岡県公共図書館等協議会」、「福岡県図書館協会」、「福岡県点字および録音図書連絡協議会」などの活動を通じて、館種を超えた図書館間の相互協力を推進します。
- ④ 図書館ボランティアとの連携及びボランティアの育成を図ります。

目標 2：日々の暮らしや仕事の中での、課題解決のお手伝いをします。

(1) 資料収集保存センターとしての役割

- ① 日々高度化・多様化する県民の資料や情報の要求に応えるため、ビジネス、医療・福祉情報、法律、教育、子育て、地域活性化等の資料を、重点的に収集・提供に努めます。
- ② 青少年向け資料を含む子ども読書活動の推進につながる資料・情報の充実に努めます。
- ③ 福岡県内で利用の多い言語を中心に、外国語資料の収集・提供に努めます。
- ④ 読書に困難のある人へのサービスとして、大活字本やデイジー図書・マルチメディアデイジー図書等の収集・提供に努めます。

(2) 資料情報センターとしての役割

- ① 高度情報化社会に対応した図書館サービスとして、主要新聞や判例等のデータベースの充実と活用の推進を図ります。
- ② 国立国会図書館や国立情報学研究所、サピエ図書館等とも連携を図りながら、幅広い資料・情報の提供に努めます。
- ③ レファレンス事例を蓄積し、自館ホームページ及び国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベースに登録・公開に努めます。
- ④ 「障害者差別解消法」に適切に対応した運営等により情報アクセスの改善に努めます。

目標3：読書の喜び、心の豊かさを育むお手伝いをします。

(1) 子どもの読書活動の推進拠点としての役割

- ① 子ども（18歳以下）が本に親しむための取組や技術の充実を図り、市町村の子どもの読書活動推進や読書ボランティア活動を支援します。
- ② 学校や学校図書館との連携を深め、学校での子どもの読書活動や課題解決のための調べ学習を支援します。
- ③ 近隣小・中学校と連携し、子どもの読書推進活動に関する調査研究を行い、読書を通じた学校教育に役立つ情報を提供します。

(2) 大人の読書活動の推進拠点としての役割

- ① テーマ別の図書展示や、新刊図書の効果的な展示等により、大人の読書活動推進に貢献します。
- ② 社会の変化や課題に対応したテーマに関する講演会や交流型イベントを企画し、読書への関心を呼び起こす取組に努め、大人の読書活動推進に貢献します。
- ③ 図書館を活用した学習活動が円滑に行われるよう、施設・設備の整備充実や資料の提供に努め、利用者の情報リテラシーの向上を支援します。

3 令和元年度事業

(1) 研修・講座等

事業名	開催月日	内 容	参加者等	
読書週間関連事業	1日図書館員体験 (小学生)	11月2日(土)・ 23日(土)	① カウンター業務体験 ② 館内見学 ③ おはなし会の補助、書架整理	小学4～6年生 12名
	布の絵本展	11月1日(金)～ 17日(日)	ゆずりはの会が制作した布絵本の展示	県民一般 394名 (大人194、子ども200)
	本の展示	10・11月	子ども図書館司書おすすめの本の展示	県民一般
	読書推進大会 (桂川町大会)	11月10日(日)	優良読書グループ表彰・記念式典・講演会 講演：「絵本は心のたからもの」 講師：徳永 玲子 氏（「アサデス。KBC」キャスター）	県民一般 234名
	読書講演会	2月29日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止	
図書館講座	創業セミナー 福岡県中小企業診断士協会共催事業	5月18日(土)	「事業計画書の作成」 中小企業診断士 久野 靖治氏	県民一般 24名
		6月15日(土)	「資金調達」 日本政策金融公庫 福岡創業支援センター所長 宮本 大資氏	30名
		7月6日(土)	「創業の手続と経営知識」 中小企業診断士 山口 昌利氏	31名
		9月7日(土)	「顧客の創出」 中小企業診断士 梶 隼人氏	27名
	暮らしと仕事に役立つ法律セミナー 福岡県司法書士会福岡東支部共催事業	6月22日(土)	「遺言書を書いてみよう！」	45名
		2月22日(土)	「中高年が知っておきたいネット消費者トラブル」	14名
	70歳現役応援セミナー 福岡県新雇用開発課・福岡県70歳現役応援センター共催事業	6月12日(水)	「定年からはじめるキャリアビジョン・コミュニケーション入門」	30名
		9月11日(水)	「定年からのしごと探し」	34名
		1月22日(水)	「定年からはじめるボランティア」	29名
		2月12日(水)	「シニアのための起業セミナー」	17名
医療情報セミナー 国立病院機構九州がんセンター共催事業	7月13日(土)	「笑いのがんと肝臓病」 九州がんセンター 消化器・肝胆膵内科医長 杉本 理恵氏	28名	
	9月14日(土)	「肺がんに対する化学療法～免疫療法を中心に～」 九州がんセンター 呼吸器腫瘍科医師 豊澤 亮氏	33名	
	2月5日(水)	「あれ？認知症？と思ったら」 九州大学病院 精神神経科医師 小原 知之氏 〃 脳神経内科医師 山下 謙一郎氏	36名	

公共図書館等職員研修会	基本研修	初任者研修会	5月20日(月)	対象：図書館業務初任者 内容：図書館概論、図書館サービス概論、接遇、実習 講師：(接遇) マインストラクター 船木 孝子 氏 (その他) 県立図書館職員	公共図書館・公民館職員等 59名
		中堅職員研修	2月17日(月)	対象：福岡県図書館協会会員館職員等 内容：図書館情報交流会 in 福岡 講演①：「図書館における ICT の現状」 講師：NPO 法人知的資源イニシアティブ理事/図書館サービス向上委員会委員長 山崎 博樹 氏 講演②：「AI 時代の図書館について考える」 講師：青山学院大学教育人間科学部教授・図書館長 野末 俊比古 氏 取組事例：「LINE 活用による情報発信」 講師：LINE Fukuoka (株) 原田 秀次郎 氏 伊久美 僚 氏 (株) 富士通マーケティング 鈴木 祐介 氏 登壇者によるトークセッション コーディネーター：山崎 博樹 氏 登壇者とのフリートーク ワークショップ (図書館の SNS 公式アカウントを作ろう)	公共図書館・公民館職員等 53名
公共図書館等職員研修会	専門研修	資料整理保存研修会	6月10日(月)	「図書館における図書のカビ対策について」 対象：県内公共図書館等関係者 内容：資料点検やクリーニング処理に関する講義・実習 講師：株式会社明治クリックス 代表取締役 吉川 博幸氏 文化財IPM事業部係長 井上 桃子氏	33名
		郷土資料研修	9月9日(月)	対象：公共図書館等の職員 内容：郷土資料に関する講義等 講師：福岡県立美術館 魚里 洋一 氏 他 福岡県立図書館職員	67名
		レファレンス研修	9月30日(月)	対象：図書館業務経験延べ1年以上5年未満の職員 内容：「ビジネス関連分野の調べ方」 講師：国立国会図書館利用者サービス部 科学技術・経済課 経済社会係 近藤 かおり氏 内容：「レファレンス課題調査(演習)」 講師：福岡県立図書館職員	13名
子どもと読書研修会	児童図書館入門講座(全4回)	5月27日(月) 6月3日(月) 6月17日(月) 7月1日(月)	対象：児童サービス経験2年未満 内容：読み聞かせ、ストーリーテリングについての講義及び実習	公共図書館・公民館職員等 44名 (延べ176名)	
	専門講座 ※子ども読書推進事業「ボランティアスキルアップ講座」と合同開催	1月20日(月)	対象：県内公共図書館(室)職員等 内容：講義「平成生まれの絵本たち ～時代としてふりかえる」 講師 日本女子大学家政学部児童学科 石井 光恵 教授	公共図書館職員等 132名	

	子ども読書推進講演会	10月11日(金)	講演：「絵本から幼年童話へ」 講師：関東学院小学校 徐 奈美 司書教諭 実践発表：福岡教育事務所 川野 顕太郎 社会教育主事 にこにこ文庫 仲西 まゆみ 氏	読書ボランティア・子どもの読書推進に関心がある人等 90名
	青少年読書推進事業 「青少年読書講演会」	9月2日(月)	内容：講義・実習 「ヤングアダルトサービス ～読書支援から情報支援～」 講師：ヤオキン商事株式会社総務部 総務課長 吉田 倫子氏	県内公共図書館(室)職員、教職員、学校司書、社会教育関係職員等 121名
	子ども読書スキルアップ講座 ※「子どもと読書」研修会専門講座と合同開催	1月20日(月)	対象：県内公共図書館(室)職員等 内容：講義「平成生まれの絵本たち ～時代としてふりかえる」 講師 日本女子大学家政学部児童学科 石井 光恵 教授	公共図書館職員等 132名
ボランティア講座等	録音図書製作(音声訳・校正)ボランティア養成講座	9月6日～10月25日の毎週水曜日(全8回)	録音図書製作のための技術研修	県民一般 26名
	音訳等ボランティア研修会	11月15日(金)	内容：講演・実習 「機械にはできない音訳を目指して」 講師：フリーアナウンサー・音訳指導者 安田 知博 氏	音訳等ボランティア 116名
高校生向け事業	高校生のためのビジネスプラン作成セミナー	6月29日(土)	『高校生ビジネスプラン・グランプリ』の開催に合わせた高校生に特化したビジネスセミナー(日本政策金融公庫共催)	県内の高校生、学校関係者等 23名

(2) 大会等

事業名	開催月日	内 容	参加者等
第53回 福岡県地方史研究 協議大会	6月22日(土)	テーマ:「福岡県の戦争遺跡」 講演 ・戦争遺跡を考える ——福岡県を中心に—— 有馬 学 氏 (福岡市博物館長) ・「福岡県戦争遺跡調査」の概要 小川 泰樹 氏 (九州歴史資料館 文化財調査室 参事補佐) ・北九州市の戦争遺跡 前薮 廣幸 氏 (北九州市の文化財を守る会 理事長)	地方史に関心のある県民 146名
福岡県地方史研究 連絡協議会 地区研究集会	11月9日(土)	筑後地区 小郡市埋蔵文化財調査センター 講演:『令和元号と万葉集との関わり』 講師:東 茂美 福岡女学院大学教授	51名
	11月16日(土)	豊前地区 行橋市中央公民館 テーマ:『戦争遺跡』 研究発表:「築城海軍航空隊と掩体壕」 研究発表:「近代における筑豊の炭鉱と戦争」 研究発表:「北九州歴史散歩 豊前編」	44名
	11月30日(土)	筑前地区 コムシティ3階大会議室 第1部 講演:『木村孔邇について～ 郷土八幡を誰よりも愛した男』 講演者:八幡郷土史会 尾崎徹也 第2部 花尾山・河頭山史跡現地見学会 集合:JR 黒崎駅バスターミナル 見学地:河頭山公園-頭山満翁碑(花尾山経由) -赤穂浪士四十七士の墓等	43名

(3) 郷土資料調査

	期 間	資 料 名
第1回	令和元年11月～令和2年1月のうち延べ10日間	「武谷文庫(第二次)」

(4) 企画展示

期 間	展 示 内 容	場 所
3月20日～4月28日	「子どもの読書推進に関する展示」	本館1階企画展示室
7月2日～8月3日	「災害に備える」	
10月18日～11月24日	「平成から令和へ～時をつなぐ図書館～」	
1月5日～2月27日	「中村哲氏の足跡と国際貢献する郷土出身者について」	
8月6日～9月29日	映画資料展示「僕らの夢みた未来」	

郷土資料ミニ展示		郷土資料ミニ展示
第1回「福岡県の神楽」	(4月)	本館3階エレベーターホール
第2回「戦国武将 立花宗茂」	(5月～7月)	
第3回「福岡県ラグビーのあゆみ」	(8月～10月)	
第4回「門司港 むかし・いま」	(11月～2月)	

(5) 出版

福岡県立図書館要覧 令和元年度
福岡県立図書館報 (No.75)
第53回 福岡県地方史研究協議大会
令和元年度 読書週間特別企画 高校生/ティーンズの推し本!

(6) 職場体験活動等受入状況

事業名	期間	活動内容等	参加者等
中学生・高校生 職場体験活動	6月26日～28日 8月21日～22日 9月4日～5日 9月11日～12日	カウンター業務 (貸出・返却等) 企画協力課業務 (子ども図書館・相互貸借) 資料課業務 (資料整理)	14名 (延べ24名) 計 6校
高校生インターンシップ	7月24日～26日	カウンター業務 (貸出・返却等) 企画協力課業務 (子ども図書館・相互貸借) 資料課業務 (資料整理)	4名 (延べ12名)

(7) 福岡県公共図書館等協議会事業

事業名	期間	内容	参加者等
総会・館長等研修会	5月31日(金)	講演：「図書館経営、こうすれば面白くなる」 講師：フルライトスペース株式会社パブリック・ワークス・ラボ 特別研究員 豊田 高広 氏 (愛知県田原市図書館 前館長)	公共図書館・ 公民館職員等 63名
職員研修会	第1回 7月8日(月)	講義・演習：「お客様の心に届くおもてなし」 講師：株式会社図書館流通センター サポート事業推進室 トレーニングディレクター 小林 律子 氏	公共図書館・ 公民館職員等 48名
	第2回 1月27日(月)	講演①：「正しいがん情報の探し方と伝え方」 講師：地方独立行政法人大牟田市立病院 がん相談支援センター がん専門相談員 北嶋 晴彦 氏 講演②：「公共図書館での医療・健康情報サービスの始め方—長崎市立図書館の事例をもとに—」 講師：長崎市立図書館 司書 西岡 由乃 氏 事例発表：「県内公共図書館における医療・健康情報サービスの取組み」 飯塚市立飯塚図書館、久留米市立中央図書館	公共図書館・ 公民館職員等 56名

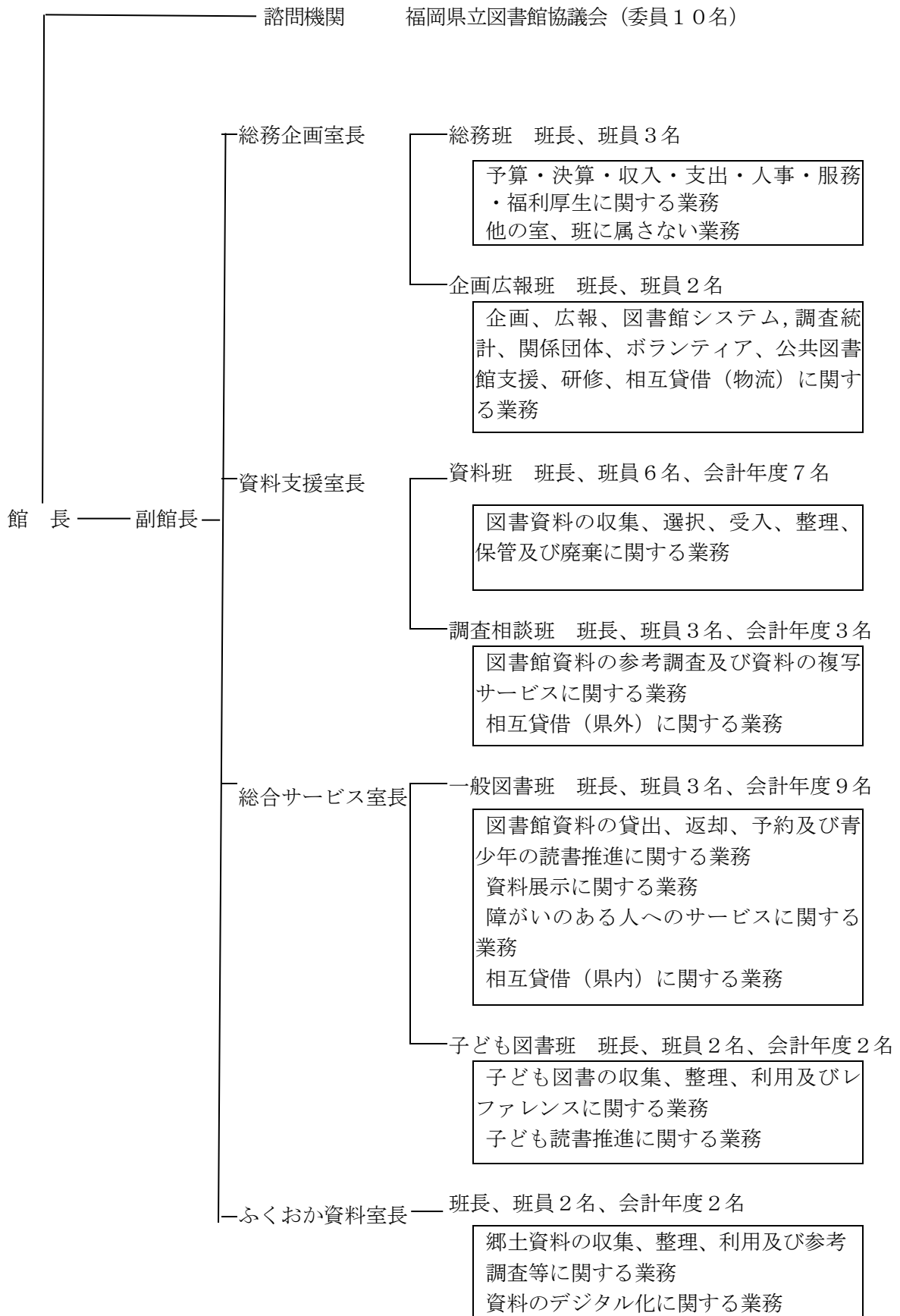
理 事 会	5月9日(木) 3月13日(金) (書面開催)	事業計画等の検討 協議会内の連携協力を図るための情報交換等 協議会の取組課題について
各 種 委 員 会	資料収集・保存 委員会	当委員会の運営の在り方について事務局で検討
	研修委員会	9月10日(火) 2月7日(金) 県協議会主催の研修会の企画検討
出 版	「令和元年度 福岡県公共図書館等概況」	

(8) 福岡県点字および録音図書連絡協議会事業

総 会	6月7日(金)	会場：福岡県立図書館	13名
担当者連絡会	11月22日(金)	会場：福岡県立北九州視覚特別支援学校	15名
職員・ボランティア研修会	2月14日(金)	会場：小郡市文化会館 演題：「読書バリアフリーと障がい者の読書環境」 講師：特定非営利活動法人北九州市視覚障害者自立 推進協会あいず理事長 吉松 政春氏	53名

4 組 織

令和2年4月1日現在



5 福岡県立図書館協議会委員

選出区分	氏名	役職名 (就任時)	委員任期	摘要
学校教育関係者	西田 雅子	大牟田市立田隈中学校長	H29. 9. 8~R2. 7. 13	
〃	伊東 和範	粕屋町立大川小学校長	R2. 7. 14~R3. 9. 7	
〃	樋口 由美子	福岡県立福岡高等視覚特別支援学校長	H29. 9. 8~R1. 9. 7 R1. 9. 8~R3. 9. 7	
社会教育関係者	一ノ瀬 留美	筑後市立図書館長	H29. 9. 8~R1. 9. 7 R1. 9. 8~R3. 9. 7	
〃	峰 恵	録音図書制作ボランティア	H29. 9. 8~R1. 9. 7 R1. 9. 8~R3. 9. 7	
家庭教育の向上に資する活動を行う者	秀村 香織留	福岡県PTA連合会 副会長	R1. 9. 8~R3. 9. 7	
学識経験者	薬袋 秀樹	筑波大学名誉教授	H29. 9. 8~R1. 9. 7 R1. 9. 8~R3. 9. 7	会長
〃	石田 栄美	九州大学准教授	H29. 9. 8~R1. 9. 7 R1. 9. 8~R3. 9. 7	
〃	長谷川 澄男	福岡県書店商業組合 相談役	H29. 9. 8~R1. 9. 7 R1. 9. 8~R3. 9. 7	
〃	岡野 秀之	九州経済調査協会 事業開発部長	H30. 8. 25~R1. 9. 7 R1. 9. 8~R3. 9. 7	
〃	安部 弘彦	福岡県議会議員 (文教委員)	R1. 7. 26~R3. 9. 7	

10名 任期2年

6 予 算

事項名	金額
運営費	127,663 千円
図書資料購入費	79,817 千円
読書推進活動及び図書館普及費	343 千円
図書資料整備費及び録音図書運営費	2,898 千円
図書館業務委託事業費	25,600 千円
図書館整備費	21,428 千円
合計	257,749 千円

7 施設の概要

本 館

構 造	鉄筋コンクリート造（地下1階・地上5階建）		
敷地面積	3,329㎡	建築面積	1,747㎡
延床面積	7,945㎡	総工費	2,484,715千円

別 館

構 造	鉄筋コンクリート造（地上5階建）		
敷地面積	1,653㎡	建築面積	809㎡
延床面積	3,269㎡	総工費	459,329千円
（うち子ども図書館増築分）	150㎡		64,960千円

8 利用案内

（1）開館時間

本 館	第1閲覧室 (1F)	午前9時～午後7時（日曜日は午後5時まで）
	第1閲覧室別室 (1F)	
	第2閲覧室、新聞室 (2F)	
	ふくおか資料室 (3F)	
別 館	子ども図書館 (1F)	午前9時～午後5時
	学習室 (3F)	午前9時～午後5時
	録音図書室 (5F) ボランティアルーム	午前9時～午後5時 （一般の方の利用はできません）

（2）休 館 日 （令和2年度）

毎週月曜日	
図書整理日	（毎月末日。ただし、土・日曜日に当たるときは開館）
創立記念日	（4月1日）
年末年始	（12月28日から1月4日）
特別整理期間	（令和3年2月22日から3月5日）

(3) サービス内容

① 個人貸出

図書資料は貴重書・参考資料・その他規則により制限されているものを除き、貸出をしています。

貸出は利用者の住所・氏名が確認できるもの（運転免許証・健康保険証・学生証など）の提示により登録を行い、利用者カード(発行日から3年間有効)を発行して、その日から行っています。

貸出は同時に10点まで、貸出期間は15日間（貸出日を含む。）です。

② 予約サービス

電話や当館ホームページで在架資料の予約もできます。

③ 指定館受取・返却サービス

当館が所蔵している資料について、利用者本人によるインターネットでの予約申込みにより、県内最寄りの図書館等で受取・返却ができます。

④ 相互貸借による資料提供サービス

当館が所蔵していない資料については、利用者の求めにより他の図書館（県内外の公共図書館・国立国会図書館等）から借り受けて利用に供しています。

⑤ インターネットによるサービス

インターネット上のホームページから、蔵書検索、新着資料一覧が見られるほか、パーソナルサービスとして利用者本人の貸出・予約情報の照会もできます。

所蔵資料の情報提供サービスは県内公共図書館所蔵情報を横断検索できるシステムを構築し、令和2年4月現在、参加58館(県立図書館含む図書館(室)・専門図書館等)の図書資料情報が県立図書館ホームページから一括検索が可能です。

⑥ 複写サービス

所蔵資料の電子複写及びマイクロフィルムからの引き伸ばしを、著作権法の範囲内で有料で応じています。

⑦ レファレンスサービス

日常生活の中などで起こる疑問や各種の調査・研究について、資料提供など相談に応じています。

電話、FAX、文書、Eメールでの相談も受け付けています。

⑧ ビジネス支援サービス

起業、就職、資格取得等の情報提供、支援を行っています。

新聞記事、判例その他ビジネス情報のデータベースが利用できるほか、インターネット情報検索用パソコンも設置しています。

⑨ 学校支援サービス

学校における読書活動の推進や教育活動の支援のため、特別貸出事業及び学校貸出図書セット事業、図書館活用リーフレットの作成を行っています。

⑩ ユニバーサルサービス

読書に困難のある人（視覚障がいだけでなく失読症等の学習障がいなどがある方も対象）へのサービスのため録音図書の提供を行っています。

録音図書製作ボランティア「福岡県立図書館音訳の会」に委嘱して録音図書を製作しています。

また、拡大読書器を設置するとともに、大活字本の購入を進めています。

9 統計資料

(1) 所蔵資料

① 図書資料

(単位：冊)

	29年度末現在	30年度末現在	R1年度末現在
一般	738,318	743,277	711,146
郷土	48,317	48,893	51,155
子ども	98,001	98,555	99,694
小計	884,636	890,725	861,995
学校貸出セット	8,479	8,341	6,322
計	893,115	899,066	※868,317

※上記のほか図書館システム未登録資料が39,899冊あり

② 逐次刊行物

(単位：タイトル)

		29年度末現在	30年度末現在	R1年度末現在
雑誌	一般	9,777	9,807	9,818
	郷土	7,643	7,585	7,674
	子ども	172	172	171
	計	17,592	17,564	17,663
新聞	一般	253	234	234
	郷土	264	263	263
	子ども	4	4	4
	計	521	501	501
法令集		5	5	5
規格資料等		4	4	4
合計		18,122	18,074	18,173

③ その他資料

			29年度末現在	30年度末現在	R1度末現在
マイクロ資料	ロール	一般室	1,926 リール	1,926 リール	1,926 リール
		郷土室	5,774 リール	5,844 リール	5,891 リール
		計	7,700 リール	7,770 リール	7,817 リール
フィッシュ			11,141 枚	11,141 枚	11,141 枚
レコード			1,227 枚	1,227 枚	1,227 枚
ビデオ、CD-ROM等			2,151 点	2,158 点	2,082 点
視力障害者用録音資料			18,024 巻(枚)	18,166 巻(枚)	18,271 巻(枚)
布の絵本			135 冊	140 冊	144 冊

④ 特別コレクション

i 当館所蔵資料

福岡県史編さん資料	795 点
大田資料（藩政資料）	554 点
諸岡家文書（怡土郡大庄屋記録）	305 点
明石家文書（箱崎浦大庄屋記録）	375 点
河内卯兵衛資料（同氏遺品）	約 6,000 点
小原菁々子俳諧文庫（俳句関係資料ほか）	約 1,000 点
福岡県農業総合試験場資料	178 点
安部資料（安部幸六氏鳥類研究資料）	約 400 冊
波多江文庫（現代蒐書）	約 30,000 冊
エスペラント資料（伊藤徳之助氏遺品）	約 400 冊
萩尾映画資料（スチール及びプレス類）	約 20,000 点
映画資料（当館収集映画資料、ポスター、スチール及びプレス類）	邦画 5,496 タイトル 洋画 10,601 タイトル
四部叢刊（中国の善本覆刻集成）（全刊揃）	2,100 冊
福岡日日新聞（明治24年～昭和17年）西日本新聞（昭和17年以降）	
その他の貴重資料	
筑前国産物帳、益軒書簡、シーボルト「日本」	
福岡県関係近世古地図	
「筑前秋月藩館下之図」、「筑前国十五郡三図（正保筑前国絵図）」	
「柳河郭内之図」ほか多数	

ii 寄託資料

竹田文庫（藩儒記録）	約 4,000 点
衣笠文庫（郷土資料）	1,864 冊
杉山文庫（杉山茂丸氏・泰道氏・龍丸氏蔵書）（寄贈を含む）	約 1,000 点
夢野久作資料（小説家遺品）	約 100 点
禅寺洞文庫（吉岡禅寺洞氏遺品）	774 冊
方城町収集古文書（町文化財）	約 1,000 点
武谷文庫（武谷元立、祐之関係書簡ほか）	約 1,010 点
谷口資料（谷口良忠氏作成・収集鉄道関係資料）（寄贈を含む）	図書等 1,200 点 雑誌 43 タイトル

⑤ 古文書等複製化状況（令和元年度）

i マイクロフィルム撮影

（単位：巻）

No.	資料名	マイクロリール数
1	竹田文庫	43
2	郷土図書（板付基地の経済ほか）	4
計		47

ii デジタル化

No.	資料名	資料点数
1	東路日記 上巻・下巻	2
2	明治己丑福岡県水害史	1
計		3

(2) 所蔵資料受入状況

① 図書資料

(単位：冊)

		30年度末現在	R1年度増	R1度末現在
総	記	64,604	-27,926	36,678
哲	学	39,500	2,651	42,151
歴	史	83,355	1,634	84,989
社	会 科 学	169,120	1,905	171,025
自	然 科 学	62,907	-1,302	61,605
技	術	57,794	1,467	59,261
産	業	37,868	-359	37,509
芸	術	65,858	-1,578	64,280
言	語	13,929	456	14,385
文	学	213,401	-9,382	204,019
布	の 絵 本	140	4	144
紙	芝 居	1,681	-115	1,566
行	政	31,675	1,553	33,228
郷	土	48,893	2,262	51,155
計		890,725	-28,730	861,995
行政資料 (再掲)	福岡県	6,917	313	7,230
	福岡県市町村	4,726	340	5,066
	国	16,617	889	17,506
	都道府県	3,415	11	3,426

※ 学校貸出セットを除く。

② 逐次刊行物

		30年度末現在 タイトル数	R1年度増 タイトル数	R1年度末現在 タイトル数
雑 誌	総記(G)	876	1	877
	人文(C)	500	1	501
	社会(S)	1,712	2	1,714
	科学・技術(T)	1,943	2	1,945
	文芸(L)	1,088	3	1,091
	郷土(K)	4,683	80	4,763
	子ども(J)	172	-1	171
行政資料	福岡県及び 県内市町村	2,902	9	2,911
	国及び都道府県	3,688	2	3,690
	計	17,564	99	17,663
新 聞	一般	234	0	234
	郷土	263	0	263
	子ども	4	0	4
	計	501	0	501
法令集		5	0	5
規格資料等		4	0	4
合計		18,074	99	18,173

(3) 利用状況

① 入館者数

	29年度	30年度	R1年度
入館者数	375,160(1,289)	325,027(1,149)	255,876(1,075)
年間開館日数(日)	291	283	(注) 238

※ () は1日平均

(注) R1年度は、特別整理及び空調等工事のため12/1~31、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2/28~3/31の期間休館

② ホームページ・アクセス数

	29年度	30年度	R1年度
トップページアクセス数	432,606	382,603	340,148

③ 図書資料貸出状況

		29年度	30年度	R1年度
登録者数 (人)	一般	117,602	120,723	123,280
	子ども	4,571	5,086	5,500
	計	122,173	125,809	128,780
利用件数 (人) (相互貸借を含む)	一般	159,719	156,614	137,824
	子ども	13,524	13,239	11,765
	計	173,243	169,853	149,589
貸出冊数 (冊) (相互貸借を含む)	一般	369,126	350,823	310,095
	子ども	90,835	93,888	83,992
	計	459,961	444,711	394,087

録音図書

		29年度	30年度	R1年度
個人	登録者数(人)	305	308	312
	利用冊数(冊)	1,444	1,434	1,309
	利用巻数(巻)	1,527	1,618	1,371
団体	利用団体数	101	101	107
	利用冊数(冊)	1,123	1,388	464
	利用巻数(巻)	1,130	1,390	466

指定館貸出・返却サービス利用件数

	29年度	30年度	R1年度
受取利用(冊)	9,048	8,499	7,701
返却利用(冊)	4,989	5,143	4,816
計	14,037	13,642	12,517
協力館(館)	54	54	53

※協力館数は、年度末の数値。

相互貸借

	29年度	30年度	R1年度
貸出(再掲)	18,127(うち県外1,388)	17,163(うち県外1,439)	14,802(うち県外1,072)
借受	4,295(うち県外629)	3,758(うち県外713)	3,392(うち県外611)

※ただし「県外」は公共図書館のみ

学校貸出図書セット

(単位：セット)

	29年度	30年度	R1年度
貸出状況(再掲)	173	143	105

④ 資料の特別利用

	29年度	30年度	R1年度
1 資料の復刻・翻刻	6件	3件	3件
2 資料掲載	62件	66件	55件
3 資料の放映	23件	21件	30件
4 その他(展示等)	30件	41件	20件
計	121件	131件	108件

⑤ 複写利用状況

		29年度	30年度	R1年度
枚数	第2閲覧室	85,281枚	68,457枚	54,043枚
	ふくおか資料室	74,100枚	64,888枚	59,163枚
	計	159,381枚	133,345枚	113,206枚

※ カラーコピーは1枚30円、モノクロ、マイクロコピーは1枚10円

⑥ 「特別複写・自写申請書」による撮影枚数

	29年度	30年度	R1年度
枚数	8,786枚	105,449枚	71,427枚

⑦ 「おはなし」の時間

日 時	対 象	内 容	
毎週水曜日 11時	0・1・2歳	絵本の読み聞かせ	
〃 16時	3～5歳	ストーリーテリング	
毎週土曜日 14時	小学生	紙しばい ほか	
	29年度	30年度	R1年度
実施回数	130回	142回	82回
参加延人数	1,492人 (うち子ども 875人)	1,649人 (うち子ども 947人)	1,455人 (うち子ども 831人)

⑧ 子ども情報ルーム 学習目的利用者 (内パソコン利用者)

	29年度	30年度	R1年度
利用者数(人)	911(153)	757(198)	786(323)

⑨ 子ども読書普及活動講師派遣状況及び受講者数

	29年度	30年度	R1年度
講師派遣件数(回数)	8件(11回)	9件(10回)	6件(10回)
受講者数(人)	—	—	287

⑩ 資料補修講師派遣状況及び受講者数

	29年度	30年度	R1年度
講師派遣件数(回数)	6件(6回)	2件(2回)	4件(4回)
受講者数(人)	94	29	37

⑪ レファレンス件数

		29年度	30年度	R1年度
面 談	一 般	35,862	34,052	28,667
	ふくおか資料室	2,805	3,360	3,423
	子ども室	9,480	6,290	4,533
	計	48,147	43,702	36,623
電 話	一 般	11,288	12,060	9,498
	ふくおか資料室	1,248	1,246	1,068
	子ども室	643	695	477
	計	13,179	14,001	11,043
文 書	一 般	121	185	273
	ふくおか資料室	128	180	26
	子ども室	0	0	0
	計	249	365	299
F A X	一 般	39	34	53
	ふくおか資料室	74	57	87
	子ども室	0	0	0
	計	113	91	140
Eメール	一 般	2,071	1,215	975
	ふくおか資料室	515	594	223
	子ども室	4	12	25
	計	2,590	1,821	1,223
ウオンテット [®] (所在調査用掲示板)	一 般	138	115	70
	ふくおか資料室	0	0	1
	子ども室	0	2	0
	計	138	117	71
合 計	一 般	49,519	47,661	39,536
	ふくおか資料室	4,770	5,437	4,828
	子ども室	10,127	6,999	5,035
	計	64,416	60,097	49,399

⑫ 書庫出納

	29年度	30年度	R1年度
総記	2,570	2,127	1,876
哲学・宗教	3,595	3,336	3,055
歴史・地理	5,825	5,114	4,392
社会科学	6,233	6,408	5,536
自然科学	1,842	1,978	1,881
工学	1,810	1,857	1,653
産業	1,399	1,364	1,170
芸術	2,973	2,719	2,653
言語	658	613	553
文学	9,463	8,778	8,197
雑誌	6,554	6,577	4,348
子ども	12,232	11,698	11,738
郷土	12,344	14,032	14,029
その他※	3,702	3,002	2,550
合計	71,200	69,603	63,631

※「その他」には、新聞・AV資料・行政資料等を含む。

⑬ 県内公共図書館設置状況

	29年度末	30年度末	R1年度末
市立	28(28)	28(28)	28(28)
町立	25(30)	25(30)	25(30)
村立	0(2)	0(2)	0(2)
合計	53(60)	53(60)	53(60)

()内は市町村数を表示している。

⑭ 録音図書室

○ 沿革

- 昭和40年 4月 盲人用録音物等発受施設の申請を郵政省へ提出 11月認可
- 11月 録音図書吹込開始(朗読ボランティア7名)
- 昭和42年 4月 福岡県文化会館 盲人用テープライブラリー発足
蔵書25冊(68巻) 利用登録者22名
- 昭和48年 4月 オープンリールからカセットに切り替える
- 昭和50年 録音図書制作ボランティアとして「福岡県朗読奉仕者の会」創立
- 昭和53年 2月 逐次刊行物「暮らしの手帖」録音版発刊
- 昭和53年 2月 朗読奉仕者の会会報「かけはし」創刊
- 10月 日本点字図書館団体登録が承認される
- 12月 国立国会図書館学術文献録音サービス受付機関となる
- 昭和56年 9月 福岡県朗読奉仕者の会が福岡市社会福祉協議会より表彰を受ける
- 昭和58年 4月 福岡県立図書館録音図書室としてスタート
- 昭和63年 4月 福岡県朗読奉仕者の会が「第24回社会を明るくするフクニチ新聞社賞」を受賞
- 平成2年 6月 福岡県朗読奉仕者の会が厚生大臣表彰を受ける
- 平成6年10月 福岡県朗読奉仕者の会が「福岡県教育文化功労者表彰」を受賞
- 平成8年10月 録音図書校正ボランティア養成講座開催
(平成8年度生涯学習ボランティア活動総合推進事業)
- 平成11年 4月 福岡県立図書館所蔵録音図書情報インターネットで提供開始
- 平成16年 5月 福岡県朗読奉仕者の会が「緑綬褒章」を受章
- 平成19年12月 デイジー図書(デジタル音声情報システムによる録音図書)の貸出開始
- 平成22年 4月 福岡県朗読奉仕者の会が会の名称を「福岡県立図書館音訳の会」に変更
- 平成24年 4月 サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館に加入
- 平成25年 9月 福岡県立図書館音訳の会が朗読録音奉仕グループ奨励賞(財団法人鉄道弘済会ほか主催)を受賞
- 平成27年 7月 サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館でのオンラインリクエスト受付開始
- 平成27年11月 「福岡県立図書館音訳の会」創立40周年記念講演会
- 平成28年11月 福岡県立図書館音訳の会が、第24回福岡県文化賞(社会部門)を受賞
- 平成30年11月 福岡県立図書館音訳の会が、平成30年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞
- 令和元年 7月 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスへ、デイジー図書データ登録開始

(令和2年4月現在 音訳ボランティア47名)

○所蔵冊数 4,883冊(18,271巻)

10 令和元～2年度 新型コロナウイルス感染症対応記録

令和元年度末から令和2年度にかけて、世界的に流行した新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県立図書館では、令和2年2月28日から5月18日まで、長期にわたる臨時休館を余儀なくされた。以下に県内での感染発生後の当館の対応を記録する。

- R2/2/20(木) 福岡市内で、県内初の感染症の患者の確認を受けて、拡大運営会議にて、職員の検温、マスク着用等、現時点での対応を協議
- R2/2/21(金) 「新型コロナウイルス感染症の感染とその拡大の防止のための県主催イベントの中止・延期について(通知)」(保健医療介護部長名)
「新型コロナウイルス感染症への対応について(通知)」(教育長名)
- R2/2/25(火) 臨時拡大運営会議にて、直近の行事の中止または延期、関連団体の総会等は書面開催とする等、今後の対応を協議
- R2/2/26(水) 知事から県の施設を閉館するよう要請あり
- R2/2/27(木) 臨時拡大運営会議にて、2月28日から休館の方向で、予約取置の利用者への連絡、予約の受付停止、相互貸借の停止等、休館中の対応を協議・決定
予約本(取置済)の受取は、平日9時から17時まで職員通用口廊下で臨時受付
(R2/2/28 から 3/20 まで、臨時休館)
- R2/3/18(水) 拡大運営会議にて、3月21日(土)から開館となった場合の対応協議
- R2/3/19(木) 3月21日(土)から開館となった場合に備えて、第一閲覧室で貸出・返却のみの縮小サービスを行うための準備作業を実施(椅子の撤去、カウンターへの誘導表示作成等)しかし、18時30分頃、本庁から、県の機関は一律当面の間休館を延長する旨の連絡があり、休館延長決定
(R2/3/21 から当面の間、臨時休館延長)
- R2/3/23(月) 拡大運営会議にて、今後の段階的な開館スケジュールを協議
- R2/3/24(火) ホームページの予約ボタン、レファレンスフォーム再開
- R2/3/27(金) 保健医療介護部長名で、県有施設の臨時休館を、当面、令和2年4月19日(日)までとする通知あり **(R2/3/21 から 4/19 まで、臨時休館延長)**
- R2/3/30(月) 教育総務部総務企画課長名で、同上文書の周知の通知あり
- R2/4/1(水) 県の新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催
4月19日までの週末(4・5、11・12、18・19日)は、不要不急の外出を控えるなどの自粛要請が出た
このため、実施の準備をしていた土・日の予約本受取を取りやめとした

- R2/4/6(月) 福岡県を含む7都府県で「新型コロナ特措法」に基づく緊急事態宣言が7日午後
に発令される見通しとなった
- R2/4/7(火) 拡大運営会議にて、緊急事態宣言発令への対応策を協議し、インターネット予約
は4月7日(火)、予約資料の受取は4月8日(水)17時をもって、当面の間停止す
ることに決定
本の返却、webレファレンス、郵送による新規登録は継続
また、緊急事態宣言が発令され、県の方針が示された時点で、臨時休館延長の周
知を行うこととした
夕刻、緊急事態宣言発令(4/8~5/6)
図書館ボランティアは活動休止
- R2/4/8(水) 午前中、県有施設の臨時休館、5月6日まで延長決定
(R2/4/19 から 5/6 まで、臨時休館延長)
- R2/4/10(金) 本庁から、以下の3件要請あり
①当館ホームページに、『福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部』からのお
知らせを掲載
②勤務時間中は、原則マスク着用
③業務継続のための分散勤務について、4月13日(月)から実施
- R2/4/13(月) 「緊急事態宣言に伴う事業者への要請について」(福岡県新型コロナウイルス感
染症対策本部会議)
- R2/4/14(火) 「在宅勤務の促進について(通知)」(教育長名)
- R2/4/20(月) 「新型コロナウイルス感染症のまん延防止のための出勤者の削減について(通
知)」(教育長名) ⇒在宅勤務の促進
- R2/4/22(水) 運営会議で、5月7日以降開館となった場合の対応について協議
- R2/4/23(木) 5月7日から開館となった場合に備え、飛沫防止用のビニール等を購入
以後、再開スケジュールに従い、カウンター用の飛沫防止ビニール設置
- R2/4/24(金) 本庁から、以下2件の要請
①当館ホームページに、『福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部』からのお
知らせを掲載
②「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対応に係る使用許可団体等へ
の周知徹底について(通知)」(総務部財産活用課長名)
- R2/5/4(月) 国の緊急事態宣言延長(5/6~5/31)を受けて、県も5月31日まで、緊急事態措置
を延長することに決定(第9回新型コロナウイルス感染症対策本部会議)
これに伴い、県有施設の臨時休館も5月31日まで延長
(R2/5/7 から 5/31 まで、臨時休館延長)

R2/5/11(月) 知事が、国の「特定警戒都道府県」指定が14日に解除されない場合でも、美術館や博物館、図書館の再開を検討すると発表

R2/5/12(火) 拡大運営会議で、再開のスケジュール等を協議し、以下のとおり概ね決定
5/15(金)～予約取置資料の受取再開
5/19(火)～第一閲覧室、子ども図書館のみ再開、新規予約、電話レファレンス再開
5/26(火)～第二閲覧室、ふくおか資料室再開
6/2(火)～学習室再開、相互貸借・指定館受取再開
7/1(水)～全館再開

R2/5/13(水) 運営会議で、再開のスケジュール最終確認
社会教育課より「サーモカメラの設置が再開に向けた必須条件となった」旨の連絡あり

R2/5/14(木) 国の緊急事態宣言解除を受けて、県でも一部の休業要請解除決定
県有施設では、博物館・美術館・図書館の再開決定
サーモカメラのデモを実施し、終了後、本館・別館入口にサーモカメラ設置

R2/5/15(金) 再開後の混雑を避けるため、事前に予約本の受取再開
(5/15(金)～17(日)9:00～17:00 職員通用口付近(外)で対応)

R2/5/18(月) 入館の際の受付作業、リハーサル実施 **(臨時休館は、R2/5/18で終了)**

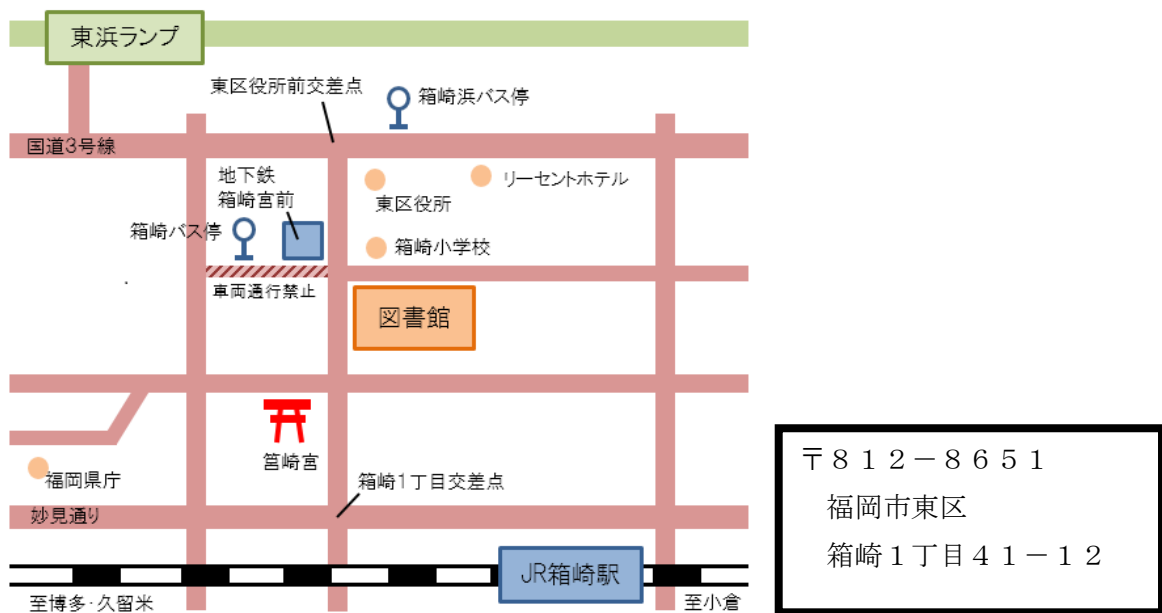
※臨時休館中は、ホームページによる情報発信を強化し、(詳細は、ホームページ「自宅での学び・読書支援」のページ参照) 県内市町村立図書館等の開館、休館情報も随時発信

R2/5/19(火) 第一閲覧室及び別室、子ども図書館再開(貸出・返却等、9:00～17:00)
来館者には、手指消毒、検温、利用者カードの提示等をお願いした上で、入館していただいた(本館・別館入口に人員を配置して対応)
1時間毎に、短時間の滞在をお願いする館内放送実施し、閉館10分前には「蛍の光」とともに閉館放送実施
予約受付を再開
社会教育課より、県の緊急雇用対策で、図書館でパートタイムの会計年度任用職員を募集すると連絡あり

R2/5/20(水) 滞在時間(1時間程度)のことを考慮して、学習室の再開は、完全開館となる7月1日からとし、併せて6月末まで子ども図書館を除き、別館自体を使用不可に変更

R2/5/21(木) 図書館再開後、初の全体ミーティングを行い、終了後、以下の件を打ち合わせ
・閉館後、間引いた椅子の移動
・本日の新聞等は、25日(月)にエントランスホールへ配置
・対面レファレンスは、事前受付制にし、1時間以内で終了するように配慮
本庁より、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等の周知について」依頼、HP、ツイッターで周知

- R2/5/25(月) 本館エントランスホールの新聞等配置と掲示変更
- R2/5/26(火) 第二閲覧室、ふくおか資料室再開 (9:00～17:00)
新聞・雑誌最新号の閲覧も再開
- R2/6/2(火) 相互貸借・指定館受取再開
- R2/6/4(木) 本館・別館の受付について、原則として緊急短期雇用創出事業会計年度任用職員が対応することに変更
- R2/6/5(金) 本庁より、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等の周知について」依頼
6月10日(水)、HP、ツイッターで周知
- R2/6/22(月) 本庁より、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等の周知について」依頼
6月26日(金)、HP、ツイッターで周知
- R2/7/1(水) 学習室、カフェテリア再開 (9:00～17:00、カフェテリアは16:30まで)
第一閲覧室・別室、第二閲覧室、ふくおか資料室 (9:00～19:00)
子ども図書館おはなし会再開
図書館ボランティア活動再開
館内の滞在時間は2時間までとする



【交通案内】

- ・地下鉄 「箱崎宮前」 1番出口から約100m
- ・西鉄バス「箱崎浜」から約400m
- ・西鉄バス「箱崎」から約100m
- ・JR九州「箱崎」から約800m

【電話案内】

- ・代表電話番号 092-641-1123
- ・レファレンス 092-641-1128
- ・貸出・返却 092-641-1124
- ・子ども図書館 092-641-1161

- ・総務企画室 092-641-1125
- 092-641-1239
- ・資料支援室 092-641-1140
- ・総合サービス室 092-641-1183
- ・ふくおか資料室 092-641-1126

- ・FAX 092-641-1127
- ・E-mail kentosho@lib.pref.fukuoka.jp
- ・ホームページ <https://www2.lib.pref.fukuoka.jp>